

## 歯科衛生士にとって視覚強化とは



ホワイト歯科グループ熊本 歯科衛生士  
山平 園子

歯科医療にとって見る－見えるということは精密な処置を実施する上で欠くことのできないことだと思います。しかしながらベテランの歯科医師のみならず歯科衛生士にとってもスキルの向上とは裏腹に“見えなくてもできる”内容が増えていくことも事実です。また、逆に見えないことによる不安要素が増えることも事実だと思います。

最近では歯科衛生士の方々も双眼ルーペを用いた診療を行っている方が多くなりました。プロテクターとしての機能に加え、拡大要素を加味した精密な DH ワークに関心が向いてきた現れだと思います。双眼ルーペやマイクロスコープに共通なアドバンテージは“視覚強化”だと思います。小さなものを大きく、見にくいものを明確に、操作の検証、できないことを可能に、新たな術式の確立、など視覚強化によってもたらされる恩恵は歯科医師だけのものではないと思います。

もとより、マイクロスコープ治療の要素は、拡大・照明・記録です。拡大と照明は双眼ルーペによっても得ることができますが、記録をとり患者さんにフィードバックできるのはマイクロスコープならではのと思います。そしてこれは患者さんへのモチベーションアップにもつながると考えます。

自身顕微鏡の世界へ入って長い歴史を持つものではありませんが、歯科衛生士として双眼ルーペ、マイクロスコープを通して見た視覚強化の世界をご紹介したいと思います。それぞれの特徴や効果について考える一助となれば幸いです。